



Inona ny vaovao?

イヌナ ニ バオバオ?
何か良いことあった？

マダガスカル 青年海外協力隊 通信 第12号 (2018/10/21) 福長 輝侍

今回のテーマ：マダガスカルの結婚式特集。結婚するって大変なことだ、

福長 輝侍 (FUKUNAGA TERUYUKI)

隊次：2017年度2次隊

活動国：マダガスカル

赴任地：アンズブルベ

(首都から約3時間)

職種：コミュニティ開発

前職：教師(非常勤/社会科)

出身：岡山県・岡山市



マダガスカルってどんなところ？

公用語：マダガスカル語・フランス語

人口：約2500万人(日本の6分の1ほど)

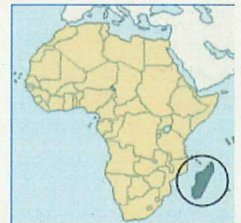
国土：587,000 km²(日本より大きい！)

首都：アンタナナリボ

宗教：キリスト教及び伝統宗教、

少数派イスラム教

民族：約18部族



① マダガスカルの結婚式について - -

結婚は世界共通の儀式ですが、やり方は全然違う。今回は、マダガスカルの結婚式の一日の様子を見てみよう。



①結婚式は公民館で？

マダガスカルの田舎の結婚式は、まず公民館で式を挙げます。ここで、結婚の登録？をして、その後教会にいけます。日本と少し似てますね。



②スーツとドレスでパレード

新郎新婦は公民館からずっとドレスとスーツを着用。この後には、車に乗って町で「結婚したよ！」とパレードを行います。町を回る間は、クラクションを鳴らし続けます。「うるさい！やめろ！」なんて思わず、祝福しましょう。



③服装はテーマ・カラーがあるのでご用心：左の写真では、みんな赤いものを、右の写真は、みんな青いものを身に着けています。左右は別の結婚式で、それぞれの結婚式にテーマカラーがあります！場違いが色を着て恥ずかしい思いをしないように、事前のチェックを欠かさずに。



④宴会部長の登場とキスのコール 公民館と教会が終わると、食事をするために移動します。そこでは、日本の結婚式と同じ司会進行役が活躍します(写真 左下)。この人が、どんどん盛り上げてダンスを始めさせたりします。途中、新郎新婦に「キース、キース」とキスのコールを行います。子供や大人が一斉にコールするなかで、新郎新婦はキスさせられます。これも文化。



⑤ ダンス担当のアルバイト? : 食事の際は、ダンス担当のお姉さんがいました。バイトかわかりませんが、途中でダンスの仕方を忘れてたり、覚えている曲はダンスが激しくなったり。



⑥ みんなでダンス・ダンス・ダンス 右の写真のように、みんなですとダンスをします。事前に連絡なんてありません。宴会部長が急に、「親族〜」「職場〜」など決めていきます。特に、子供はずっと踊りっぱなし。みなさん準備しておきましょう。



⑦ ごはんは豪華に豚か鳥の肉 左の写真のように、ご飯は豚か鳥の肉が出ます。油たっぷりですがかなりおいしい。早く食べたい、だから早だれかに結婚式をしてほしい。

⑧ ブーケでなく、ケーキ 日本では、ブーケを花嫁さんが投げますね。マダガスカルでは、新郎新婦がケーキを配ります（投げません）。お世話になった人に、ホール型のケーキをもっていきます。いいなあと思いつつ、もらった人はホールひとつもケーキが食べれるかな、と心配です。



⑨ ケーキをお土産に帰らしましょう 日本でもおなじみケーキ入刀。マダガスカルでも新郎新婦がケーキ入刀を行います。切り分けたケーキは、ティッシュにのせて配られ、1)その場で食べる、2)持ち帰って食べる、の2択を選択。もちろん、1)を選択。この後、新郎新婦はダンスやカラオケ、夜遅くまで大騒ぎ。

※気になるご祝儀は、一人 **200~400円** (5000~10000 アリアリ) と安く、封筒に入れて新郎新婦に直接渡します。

参加するときは、ご準備を。

② 子供たちの凄さ — たき火とイモ掘り上手な少年少女 —

毎回思いますが、子供たちは本当にすごい。

火を使う時には、どんな葉っぱが燃えるのかすぐわかる。

まきが必要と話していたら、勝手にまきを拾ってくる。

いも掘りをしたら、みんなで取り合うくらい楽しむことができる。

教育を十分に受けられない、服がボロボロなどいろいろ問題はありますが、

僕は彼らがすごく好きです。なんせ、おもしろいから。いつか、日本の子供とも交流できる機会を作りたいと思います。

